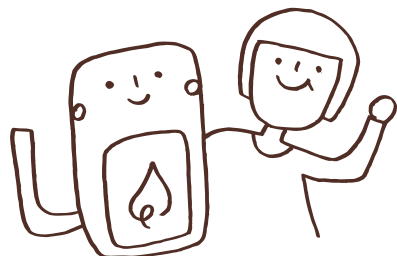


ペレットストーブは



新しい暮らしのかたち。

このガイドを読んで、火のある暮らしは大変と思われた方もいるかもしれませんが。簡単で便利な家電に囲まれた私たちにとって、ペレットストーブの導入は「チャレンジ」になります。でも、ひとつひとつクリアした先には想像以上に豊かな楽しい冬の日々が待っています。さあ、ペレットストーブのある新しい暮らし、はじめましょう。

メモ

ペレットストーブ はじめてガイド



火の見える暮らしを手軽に実現できるペレットストーブ。「うちにも置けるかな?」「何から準備すればいい?」と思ったときに読んで欲しい、木のエネルギーを上手に取り入れるためのはじめてガイドです。

京都ペレット町家ヒノコでは一年中ペレットストーブをご体感いただけます。いつでもお気軽にお越しください。

ペレットストーブ、欲しいなあと思ったら…

● まずは実物を見てみよう！

- ストーブを使用している店舗へ見学に行ったり、ユーザーの話聞いてみましょう。
- ストーブの大きさ、デザイン、質感がイメージ通りかを確認します。
- 炎の雰囲気や暖かさ、点火時の排気の様子、運転音、運転方法、燃料の入れ方をチェック！
使い勝手、製品の掃除しやすさも重要なポイントです。

● 燃料「木質ペレット」はどこで買う？

- 近くに燃料販売店はありますか？ ペレットの宅配サービスはご存知ですか？
>> 京都市内の販売店は、製造元の森の力京都 WEB でご紹介しています。
- 多くのユーザーは一度に10袋以上をまとめ買いしているようです。
燃費*や置き場所も含めて入手方法をシミュレーションしてみましょう。
*使用する部屋の広さ、ストーブの大きさによって燃料使用量が大きく変わります。

● ペレットストーブは、お手入れが必要です。

- 木を燃やすと「灰」が出ます。その灰掃除が日々のお手入れとなります。
ほんの数分の手間ですが毎日のこと、家族で協力して行えるのが理想的です。
- こまめにお手入れすることがストーブの長持ちにつながります。
詳しくは販売店に聞いたり、「ペレットストーブおそうじガイド」をご参照ください。

ペレットストーブ生活への準備 3つのStep



Step 1

ストーブの機種はどう選ぶ？

暖房能力

デザインやサイズも気になるけれど、まずは暖めたい部屋の広さ、断熱性に注目しましょう。設置部屋もしくは家全体を暖めるのに応じた「暖房能力」を持つストーブを選びましょう。ストーブの炎を楽しむための補助暖房とする場合は、暖房能力が若干小さくても大丈夫です。

機能

着火方法（自動or手動）や機能（タイマー機能や室温コントロール、安全装置など）の充実度で、価格に差が出るもの。あなたの暮らしにはどんな機能が必要ですか？

Step 2

設置について考えてみよう

設置場所

ペレットストーブは必ず屋外への排気管工事が必要です。販売店や工事業者と相談しながら、設置場所や排気管を出す位置を決めましょう。

- 近くに電源コンセントはありますか？（モーターを回すのに少量の電気が必要です）
- 排気トップ（屋外排気ガス出口）近くは、可燃物があつたり人通りが多かったりしませんか？
- 積雪の多い地域は、排気トップが雪でふさがれる恐れはありませんか？

費用・工法

ペレットストーブの設置には、本体代金の他に設置工事費が必要です。費用の目安は10～15万円、設置工事時間は約2～3時間（標準工事の場合）。エアコン設置工事のように、壁に穴をあけて排気管を屋外に出します。借家の場合は、所有者の許可を取りましょう。穴あけができない場合でも、窓枠に専用パネルを取り付けて排気管を出すことも可能です。

Step 3

ご近所への気配りを忘れずに

排気

ペレットストーブの燃焼排気ガスは無色透明ですが、着火後の数分間は白煙が出ます。また運転中は、木が燃えているほのかな匂いがします。トラブルの例は、ベランダ近くに排気管を設けたために、洗濯物に匂いが付いたり壁や塀を汚してしまったりなどです。事前に確認しておくことでトラブルを未然に防ぐことができます。

住環境

集合住宅への設置も不可能ではありません。建物の管理者や所有者に事前に確認しましょう。最近では都市部で、少しずつ設置が増えてきました。気持ちのよい、炎のある生活を楽しむためにはご近所への気配りが大切です。